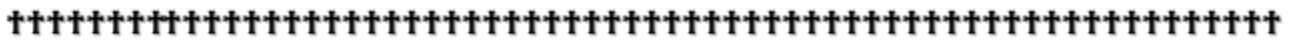




朝晩ひんやりした風が吹く日もあり、少しずつ秋に向かっていていると感じる今日この頃ですが、それにしても7月8月の暑さはこれまでに感じたことのないようなものでした。夏の間、必死で暑さに負けないようにして、秋に入って気が抜けると途端に体調を崩す人も多いと聞きます。食べ物や生活習慣を見直して、秋も元気にお過ごしください。



### 講演会のご案内 **自立する子供**

日時 2024年9月29日(日) 13:00~14:30

場所 カトリック大宮教会 聖堂

講師 **前田 辰恵**

幼児教育者として40年、モンテッソーリ教育幼稚園園長として21年。滋賀県では、二園を初めてモンテッソーリ教育幼稚園として導入した。



#### モンテッソーリ教育の学び：

東京国際モンテッソーリ教師トレーニングセンター(3~6歳)、幼稚園、保育園

Montessori Institute of Milwaukee, Inc.

Milwaukee, U.S.A ミルウォーキーでのモンテッソーリ小学校の教育課程、2年

国際モンテッソーリ教育養成校のアシスタント5年。

内容【講演会のご案内 自立する子供】【青年会より】【信徒委員会】集会祭儀  
【典礼部】ミサのキリアーレ【地区部】感謝の集いミサ【成人養成部】講演会  
【ジャック神父様帰国中のミサ】【広報部】英語版  
【被災者支援カレーの会】10月より再開【サモア~主によばれて(32)】

<青年会だより>

# 青年会より

## 【MFCの集い～MEETING FRIENDS IN CHRIST～】

8月18日に、「夏の打ち上げ会」を行いました。夕の祈り、打ち上げ、最後は花火を行いました。来年もまた打ち上げ会を行う予定です。



## 【音楽グループ-Musical group-】

9月の音楽グループの集いは日本語の歌メインで行いました。今後も音楽をもとに良い交流の場になるようにしたいと思います。神に感謝！

+++++

## <信徒委員会・各部からのお知らせ>

+++++

### <信徒委員会より>

#### ・集会祭儀

毎月第一日曜日 11:00～は集会祭儀となります。「集会祭儀はミサではないので、参加しない」という方もいらっしゃると思いますが、集会祭儀はミサに劣る典例ではありませんので、変わらずご参加ください。

### <典礼部より>

#### ・ミサのキリアーレ（4つの賛歌：いつくしみ、栄光、感謝、平和）について

昨年ミサで皆が声を出して歌うことができるようになって以来、塩田泉神父様作曲の賛歌を歌ってきましたが、山口神父様のミサをより豊かにするために、中央協議会の「全国版（A）」も歌えるようになった方がよいとのご意向を受け、聖歌隊で練習を始めています。

9/15から毎週日曜日 10:30～10:45 ミサ前に練習します。（自由参加）。併せて「主の祈り」も「全国版」に変えることとなります。定着するまでしばらくは全国版を継続する予定です。最初は戸惑うと思いますが、よろしくお願ひいたします。

### <地区部より>

**感謝の集いミサ 9月15日（日）11:00～**  
ミサの中で祝福を行います。（会食、茶話会、写真撮影はありません）

### <成人養成部より>

9月29日（日）13:00～14:30 聖堂

### 講演会「自立する子供」前田辰恵さん

小さいお子さん（小学生まで）をお持ちのお父さん、お母さん、ご家族皆様でお誘いあわせの上、ご参加ください。

（参加希望の方はグロリエッタ、槻田まで）

### <ジャック神父様帰国中のミサについて>

ジャック神父様の帰国は事情により当初の予定から10月いっぱいに変更になりました。

以下のスケジュールになります。

\* 9/22（日）のミサ：ジャック神父様

\* 10/6（日）の英語ミサ（14:00）：お休み

\* 10/27（日）のミサ：山口神父様

\* 10月いっぱい火曜日と木曜日の朝ミサ：休み

<営繕部より>

11月半ばに教会の大掃除を予定しております。決まり次第ご案内します。ご協力をお願いします。

### <広報部より>

おおみや教会通信は見沼区のハリーさんのご協力により、8月号から英語版も発行することになりました。紙版は日本語版のわきに設置します。英語の方が理解しやすいという方がいらしたらお渡し下さい。

### <被災者支援カレーの会より>

10月より再開します。10月のみ第三日曜日（10/20）、11月以降は毎月第二日曜日です。多くの方のご利用をお待ちしております。

## 洗礼式を終えて

「わたしの父の御心は、子を見て信じる者が皆永遠の命を得ることであり、わたしがその人を終わりの日に復活させることだからである。」

### ヨハネによる福音書 6:40

洗礼の準備にあたり、このみことばについて黙想していました。正直なところ、私はもう一度洗礼を受けることになるとは思っていませんでした。私はプロテスタントの家庭で育ち、正しく洗礼を受けたと思っていました。ずっと洗礼はもう受けたと信じていました。カトリックになるにはもう一度洗礼を受ける必要があるということを経験された時、私はあせんとしました。どう感じていいのか、何を期待すればいいのかわかりませんでした。他の洗礼志願者が洗礼を受けるのを心待ちにしている様子を見ましたが、自分の洗礼に対して何も感じませんでした。

困り果てた私は、洗礼がどれほど重大なことなのかを理解できるように主に祈りました。祈り始めて、しばらくして、主は私の心に洗礼への強い願望を与えてくださいました。こうして私はご聖体をいただき、イエス様が創立された教会の一員になりたいという大きな願望を抱きました。

最初は、カトリック教会の洗礼と以前プロテスタント教会で受けた洗礼とは本当に違うかどうか疑ってしまいましたが、ついにジャック神父様から洗礼を受けたとき、私は計り知れない喜びを感じました。主の恵みによって、私は喜びと希望と平安を感じました。私は教会の教えと秘跡を通してキリストを体験したいという新たな願望を抱きました。この時点では主の恵みはもうすでに私の心を新たに始めました。

洗礼式のミサで神の愛と憐れみを感じた瞬間、私がついに「ぶどうの木」につながった枝となった瞬間を決して忘れないように主に祈ります。キリストが私たちのために用意してくださっている、キリストとともに生きる永遠の命を楽しみにしています。主が私たちを祝福してくださり、いつも主の恵みの中にいてくださいますように。

見沼区 タートン

“For my Father’s will is that everyone who looks to the Son and believes in him shall have eternal life, and I will raise them up at the last day.” John 6:40

In preparation for my baptism, I’ve meditated on this verse. To be honest, I did not expect that I had to be baptized again. I was born into a Protestant family and believed I was baptized in a proper way. So for a long time I believed that I was already baptized. When I heard the news that I needed to be baptized again to become a Catholic, I was stunned. I did not know how to feel about it for a long time nor what to expect. I look at other Catechumens who seem excited for their upcoming baptism, but I look at myself and felt nothing.

Troubled, I prayed to the Lord to help me understand how significant this is. After some time, the Lord has given me a desire in my heart to be a part of him. I had a great desire to have the Eucharist and to be part of the Church that Jesus founded.

When I was finally baptized by Father Jack, I felt immense joy. I doubted before that it would make a difference from my previous baptism, but this time was very different. Through His grace, I felt joyful, hopeful and at peace. I had a new desire to experience Christ through the Church’s teachings and sacraments. His grace has already started renewing my heart right away.

I pray to the Lord that I would never forget the moment I experienced God’s love and mercy in my baptism. The moment where I am finally a branch connected to The Vine. I look forward to the eternal life with Christ which He is preparing for us. May the Lord bless us and keep us in His grace always.



## † サモア～主に呼ばれて (32) †

毎週火曜日が給料日でした。ボランティアとは言え、2年間の長丁場、給料をいただかないと生活できません。給料は週給で、毎週60タラもらえます。タラはサモアドルとも言います。サモアの人にはダラーがタラに聞こえたのでしょうか。日本人はドルですからね。当時は1タラが約50円。つまり週給3千円です。安いと言えば安いですが、住居もあるし、光熱費もただ、当時はもちろんスマホもない。贅沢はできないけど、何とか生活できます。火曜日は学校が終わると、給料をもらい、買い物に行きます。

買い物は首都のアピアに行かないとできないので、ピックアップトラックに皆乗り合いで行きます。シスターが2人とボランティアが5人なので、本当は定員オーバーです。3人くらいは荷台に乗ります。日本では禁止されていますが、サモアでは普通に乘っています。

ピックアップトラックの荷台で風を受けながら、海沿いの道をドライブするのは快適でした。およそ1時間弱で街まで行けます。当時は車が少なく、前後を走る車もほとんどなく、バス以外にすれ違う車はほとんどありませんでした。



ピックアップトラック  
(5人乗り)

スーパーマーケットの前の駐車場で車を降り、だいたい1時間が買い物の時間です。最初に郵便局に行きます。郵便物は家まで配達をしてくれないので、手紙が外国から来るようなところは、私書箱を持っています。私書箱を開けて、郵便を取り出すのですが、一緒にいるとその場で私書箱を開けて郵便をもらえるので、一緒に郵便局に行きました。アメリカ人の平和部隊（直訳するとこうなりますが、日本の青年海外協力隊と同じです）は、自分たちの事務所に手紙が来るので、分かれましたが、他のボラ

ンティアと一緒に手紙をもらってから、買い物に行きました。

当時は中国系のスーパーマーケットが1軒とちょっと離れたところにある外国からの輸入品を扱うお店で買い物をしていました。シスターがそのお店で買うものがあると帰りに寄ります。輸入品を扱うお店はほとんど冷凍か冷蔵品です。輸入品なので高いということもあり、そちらは月1回くらいしか行かなかった気がします。

買い物では、スーパーでは食パンや缶詰を良く買っていました。食パンは柔らかく、ちょっと力を入れると変形してしまう上、スライスはしていないので、うまく持って帰らないと1斤分にならなくなってしまいます。スーパーマーケットから近いところに市場もありました。市場では、タロイモやバナナ、ブレッドフルーツ、野菜。また、魚も売っていました。魚はカラフルな熱帯魚のような魚です。魚をおろすことができないのと、冷蔵庫も一人で使えるわけではなく、その上パッキンがだめになってきていて、冷蔵庫がしっかり閉まらないので、日持ちが悪いものは入れておけません。それでも何とか毎日食べていたのですから、今思い返すと不思議です。何を食べていたのでしょうかね。



海沿いの道路から見える景色

見沼区 齊藤

🍀 おおみや教会通信はカトリック大宮教会のHP (<https://catholic-omiya.net>) でご覧になれます。

\* ご意見や投稿（本などの感想、特集してほしいことなど）を募集しています。

FAX か郵送で受け付けています

〒330-0803 さいたま市大宮区高鼻町2丁目350 FAX 048-641-2724

カトリック大宮教会 広報部宛

\* おおみや教会通信 10月号は10/20 発行予定、原稿締め切り10/6

